

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高千穂町	中川登	平成25年6月24日	令和3年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	35.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	21.8ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.9ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

高齢化、若者の流出により労力不足と急速な担い手不足が課題となっている。平成25年に設立した農業法人の役員の高齢化が進んでおり、若手後継者の育成と参画が急がれている。急速に進む農地の出し手の増加に法人が集積を図るための基盤づくりが必要である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中川登地区の農地利用は、中心経営体である1法人組織と認定農業者6経営体が担い、さらに地区内外からの認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することで対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

・集落営農法人の規模拡大・機能拡充
法人構成員の高齢化対策として、子世代、孫世代への事業承継を行うことで対応する。さらに空き家活用事業や農地中間管理事業を活用して地区外からの新規就農者の受け入れ体制を整える。確保した後継者に対し農業技術研修の実施、オペレート作業へ参加させることで現役世代からのサポートを行う。

・農業交流人口の拡大による地域活性化
地区内での生産物や加工品を提供する農家カフェや直売所を整備し、内外に活発な集落であることをPRする。棚田を活用した農業体験やイベントを実施し、農業交流人口を増加させる。利用者から高い評価を受ける加工品(きな粉)について、海外への販路拡大を検討する。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

アンケート調査等による 将来の農地活用の意向	貸付け等の区分(m ²)		
	貸付け	作業委託	売渡
中川登地区	10,000	0	12,200